

令和3年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	下北文化会館	
指定管理者	団体名	株式会社 東京堂
	代表者	代表取締役社長 内田征吾
	所在地	むつ市小川町一丁目6-1
指定期間	令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月 31日 (1年間)	
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下北文化会館全体の維持管理及び運営に関する業務 ・文化芸術の振興に関する業務 ・文化会館の使用許可に関する業務 ・舞台設備の操作点検に関する業務 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	120,092	67,988	△52,104
うち利用料金額	28,075	8,101	△19,974
うち指定管理料	90,367	56,000	△34,367
支出合計 (B)	120,092	45,701	△74,391
うち人件費	27,144	13,923	△13,221
収支差 (A-B)	0	22,287	22,287
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる貸館減少及び休館対応による減収と経費削減。 ・市役所利用減免による減収。 ・センター棟改修工事に伴う減収。 		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	下北文化会館	149,680	22,930	△126,750
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無) ○利用の際のお礼のみ				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
渚プラスズリステンコンサート (121,200円返金済。中止)	0	0	127
中学生管楽器講習会 (103名申込/中止)	0	0	0
下北 Jr. ウインドオーケストラ	延べ 432	927	577
山里良太の140	567	2,452	2,053
合計	999	3,399	2,757

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

会館運営に当たる基本的な項目は適正であり、業務水準を達成しているものと判断します。
 今年度上半期は、新型コロナウイルスの影響及び、センター棟改修工事による柔軟かつ臨機応変な対応が求められたが、今一度、会館利用者の目線に立ち、不便を感じず、これまで以上に満足していただけるよう、下半期は取り組むこととする。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

施設の維持管理、使用許可等の通常業務については、当施設を長年管理してきた経験が活かされ滞りなく運営されていると理解している。
 運営上の大きなトラブルもなく、利用者アンケートの結果も利用に際するお礼が主となっており、利用者サービスも問題なく提供されていると考えている。
 特に上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により急遽休館を依頼することとなったが、予約者への連絡及び返金等の事務処理も滞りなく完了した。

また、令和4年度に開学を予定している青森大学の設置に伴うセンター棟改修工事により、これまでと異なる管理運営を強いることとなったが、市関係各課、工事関係者等との連絡が密に取られ、スムーズに工事が進められている。今後も、これまで同様の連携を図り、滞りなく工事が進めることができるよう継続してもらいたい。

新型コロナウイルス感染症の影響及び改修工事に伴い利用者が減少しているが、ホームページや各種SNSを活用し可能な範囲で自主事業を実施しており、当施設を最大限活用している。

今後とも、これまでのノウハウを活かしながら、通常業務、臨機応変な対応を期待したい。